

## 第3期環境自主管理活動 調査結果

日本繊維板工業会

### 1. 第3期環境自主管理基準・目標値

- ・二酸化炭素排出量削減：5%低減（2010年基準）
- ・化学物質対策・ホルムアルデヒド排出量の低減：基準値維持（2010年基準）
- ・建設解体廃木材の利用率の向上：63%達成
- ・林地残材の利用率の向上：20%達成
- ・MSDSによる安全性の管理：全品目対応
- ・CFP（カーボンフットプリント）制度への取組み：全品目対応

### 2. 調査内容

調査対象：16社20工場・事業所（工業会会員の国内工場全て）

回答：16社20工場・事業所

調査対象期間：毎年1月～12月

調査項目：二酸化炭素排出量、ホルムアルデヒド排出量、廃棄物総排出量、原料における建設解体廃木材の使用率、原料における林地残材・間伐材など未利用木材の使用率

### 3. 調査結果

第3期（2011～2015年）調査結果概要は以下の通り。なお、各項目の評価記号は次による。

- ◎ 目標値達成
- 2010年基準に対して改善があった
- － 2010年基準に対して改善が表れなかった

- ・二酸化炭素排出量削減：○
- ・化学物質対策・ホルムアルデヒド排出量の低減：◎
- ・建設解体廃木材の利用率の向上：◎
- ・林地残材の利用率の向上：－
- ・MSDSによる安全性の管理：SDSの工業会ひな形を作成。各社でひな形を参考に自社製品SDSの運用を開始。
- ・CFP（カーボンフットプリント）制度への取組み：全ての木質ボード（HB, MDF, IB, PB）に関して、研究者学術論文のLCAデータ取得に協力して終了。